

国内外から選好される魅力ある観光地域を形成するためには、観光客の行動・動態を把握した上で、適切な取組を実施することが重要である。

## 現状の課題

- これまでの調査票による調査では、観光客の行動・動態がわからない。
- GPS等を利用した、観光客の行動・動態についての調査・分析手法が確立されていない。



GPSによる「位置情報」(個人情報は一切含まれない統計的なデータ)を活用し、今後の観光による地域振興に資する、観光客の行動・動態のデータベース作成とその調査・分析手法の構築を目指す。

## 事業概要

### データベース作成

No.	観光客	日帰り旅行	宿泊旅行	滞在時間	出発地	交通機関
1						
2						
3						
4						
5						
...	...	...	...	...	...	...

### マクロ的調査・分析

出発地  
交通手段  
旅行時期  
来訪までの行動

### ミクロ的調査・分析

滞在時間  
宿泊・非宿泊状況  
地域内の動線

### 観光地域の位置づけ確認



### 観光地での課題把握 打ち手の検討

- ・観光行動実態の見える化
- ・観光圏間の比較
- ・具体的な打ち手の検討

## 調査対象地域・期間

平成25年度

【GPS調査の試行的実施】

- ・調査手法の検討
- ・新たな調査・分析手法の構築

【対象エリア】

- 観光圏6地域(平成24年1月～12月のGPSデータ)
- 福島県、富士山エリア(平成25年のGPSデータ)

# 調査対象地域

25年度認定圏域名(6地域)  
(対象市町村名)

その他地域(2地域)

富良野・美瑛観光圏  
(北海道:富良野市、美瑛町、上富良野町、  
中富良野町、南富良野町、占冠村)

雪国観光圏  
(新潟県:魚沼市、南魚沼市、湯沢町、十日町市、  
津南町、群馬県:みなかみ町、長野県:栄村)

福島県全域

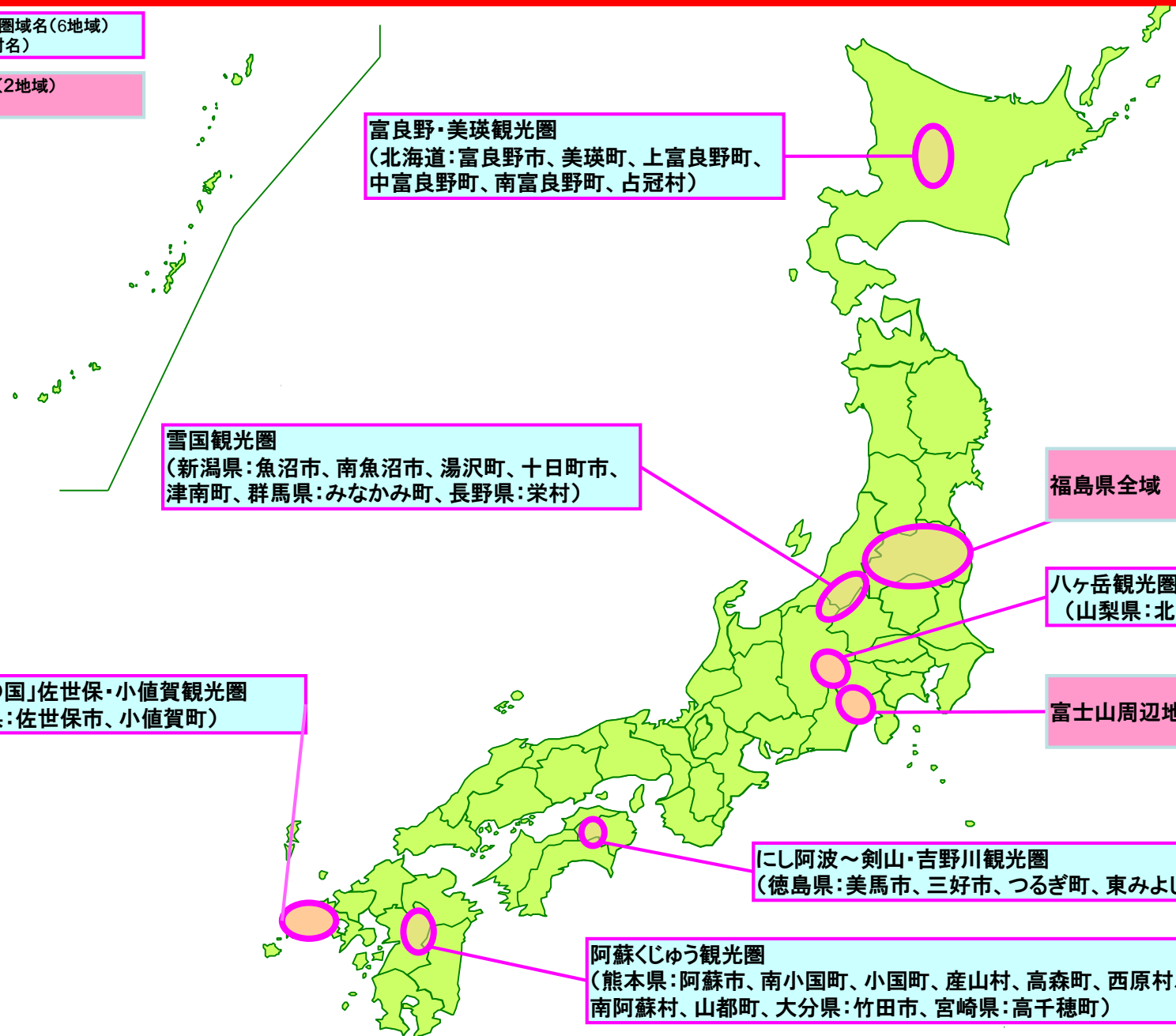
八ヶ岳観光圏  
(山梨県:北杜市、長野県:富士見町、原村)

富士山周辺地区

「海風の国」佐世保・小値賀観光圏  
(長崎県:佐世保市、小値賀町)

にし阿波～剣山・吉野川観光圏  
(徳島県:美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町)

阿蘇くじゅう観光圏  
(熊本県:阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村、  
南阿蘇村、山都町、大分県:竹田市、宮崎県:高千穂町)



# GPSを利用した観光行動の調査分析に関するワーキンググループ

## ○委員

相原 健郎	国立情報学研究所コンテンツ科学研究系 准教授
清水 哲夫	首都大学東京 都市環境学部 教授
岡本 直久	筑波大学大学院 システム情報工学研究科 准教授
沢登 次彦	(株)リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター センター長
神尾 文彦	(株)野村総合研究所 社会システムコンサルティング部長
河村 清孝	(株)ゼンリンデータコム ネットサービス本部WEB-GIS事業部 部長

## ○第1回(平成25年10月17日)

- ・GPSを利用した調査の概要について
- ①調査の目的について
- ②使用するデータと個人情報の取り扱い
- ③調査方法及び分析結果のアウトプットイメージ
- ④平成24年度「東北観光博」での調査概要の紹介

## ○第2回(平成26年1月30日)

- ・第1回ワーキンググループの議事概要について
- ・GPSを利用した調査の進捗状況について
- ・ICTを利用した観光振興について  
「観光ビッグデータへの考察」野村総合研究所  
ビッグデータビジネス推進室長 増田有孝氏より講演  
「Twitter データを活用した観光振興」NTTデータ  
ソーシャルビジネス推進室課長 尾崎哲夫氏より講演

## ○第3回(平成26年3月7日)

- ・第2回ワーキンググループの議事概要について
- ・GPSを利用した調査の調査結果について
- ・GPSを活用した観光行動調査の指針(たたき台)について
- ・ICTを利用した観光振興について  
「観光インフラとしてのgoogleの役割」  
グーグル 広告営業本部 統括部長 陳内裕樹氏より講演  
「観光情報コンテンツとICTの連携による可能性」  
JTBパブリッシング ソリューション事業本部 齋藤康広氏より講演

## ○第4回(平成26年4月18日)

- ・第3回ワーキンググループの議事概要について
- ・GPSを活用した観光行動調査の指針(案)について
- ・ICTを利用した観光振興について  
「スマートデバイス×観光 リクルートライフスタイル社の取り組みとこれから」  
リクルートライフスタイル ネットビジネス本部 田川勇輝氏より講演  
「スマホ×カーナビ連携アプリ「NaviCon」の観光利用」  
デンソー 情報通信サービス開発室担当次長 安保重敏氏より講演

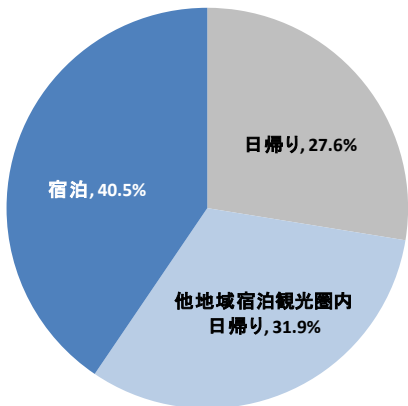
## ○第5回(平成26年6月13日)

- ・第4回ワーキンググループの議事概要について
- ・位置情報等を活用した観光行動の調査・分析の方向性について
- ・観光ビッグデータを活用した観光振興について(中間とりまとめ)

# 【富良野・美瑛観光圏】 マクロ分析：観光圏外での宿泊・立ち寄り状況、主要交通手段等

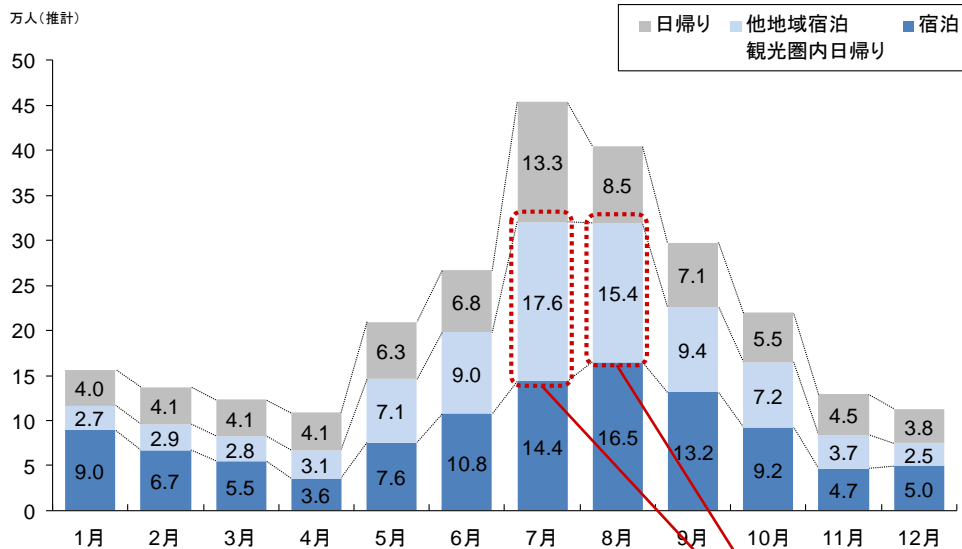
- 富良野・美瑛観光圏は年間を通じた「宿泊」観光客の割合は高いが、季節によってその割合の変動が大きい。
- 観光圏外立ち寄り市町村をみると、札幌市及び旭川市の比率が同程度に高く、道内観光ルートを形成していることが窺える。

## 観光客の観光圏内・外宿泊状況



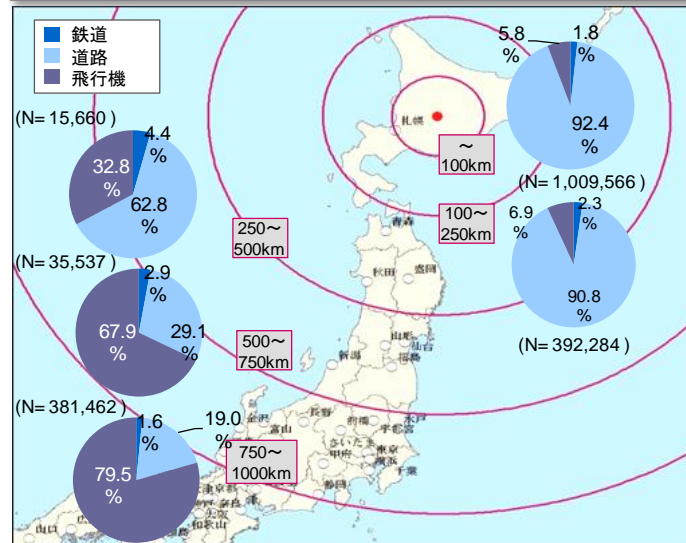
観光圏外宿泊	観光圏内宿泊	パターン
無	無	日帰り
有	無	他地域宿泊 観光圏内日帰り
無	有	観光圏内のみ宿泊
有	有	観光圏内・外で宿泊

## 月別分析

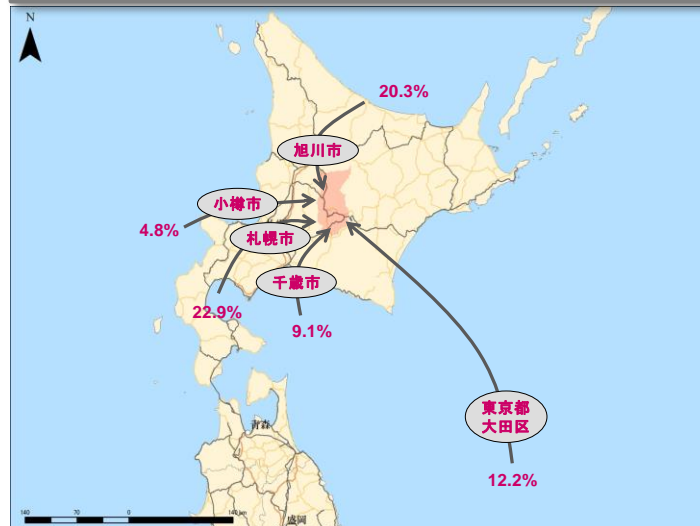


他地域宿泊場所(市町村)の把握も可能

## 出発地からの距離帯別交通手段



## 観光圏外立ち寄り市町村

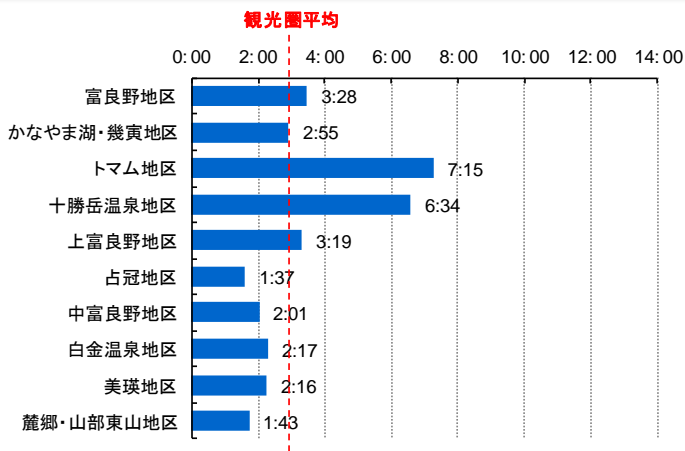
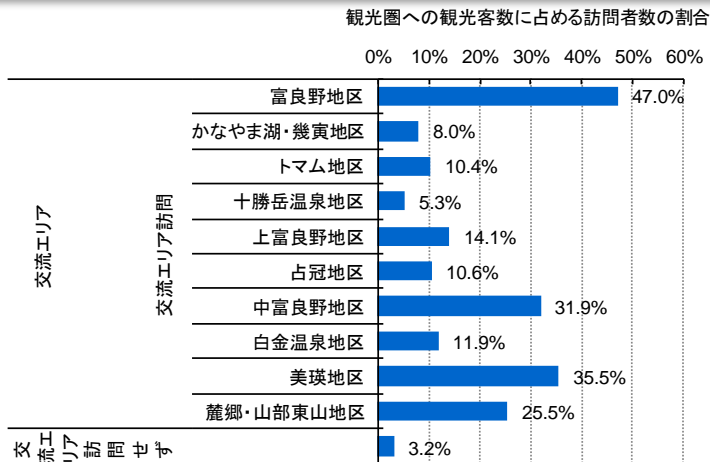




# 【富良野・美瑛観光圏】 ミクロ分析：観光圏内エリア別の滞在状況、エリア間の結びつき等

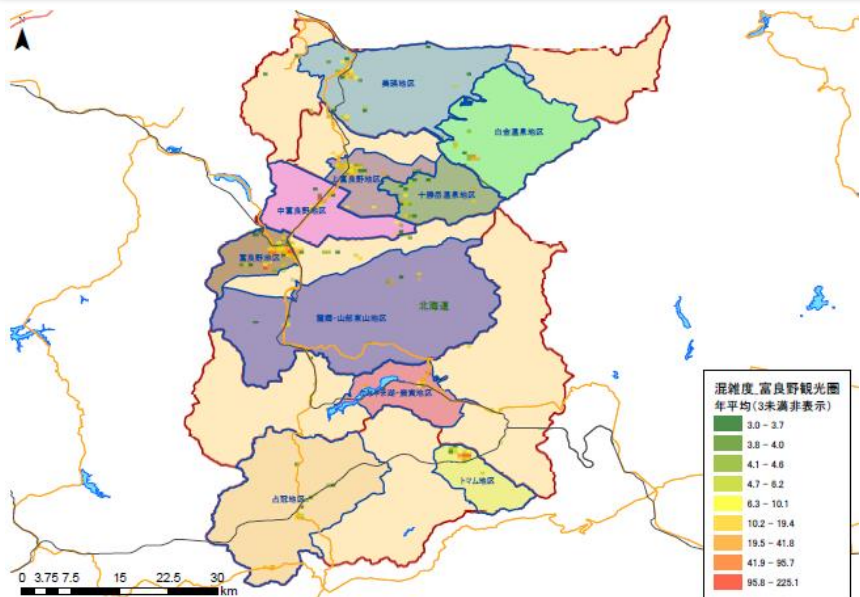
- 滞在者比率では「富良野地区」が約5割と高い、一方で平均滞在時間では「トママ地区」・「十勝岳温泉地区」が6時間以上と圧倒的に長い。
- 交流エリア間の結びつきで見ると、「富良野地区」が観光圏の中核的な交流エリアとなっていることが定量的に把握できる。

## 交流エリア別 滞在者数比率 及び平均滞在時間



- ✓ 平日・休日別
- ✓ 季節(春夏秋冬)別
- ✓ 出発地(都道府県)別
- ✓ 出発地(観光圏からの距離帯)別のクロス分析も可能

## 混雑度Map(観光客の滞在状況)



## 交流エリア間の結びつき(例)

